

深め 発見する喜び 教員の指導力を拓く調べ学習 DVD教材

独立行政法人教員研修センター委嘱

教員研修モデルカリキュラム開発プログラム

別府大学短期大学部教授

小沼 俊男

DVDは、児童生徒と先生の調べ学習の取り組みを映像で記録・分析し、各段階における具体的な支援方法を明らかにした調べ学習教材として開発したものである。内容は、小学校1校・中学校2校、合わせて5つのグループの調べ学習の発表、鴛田道雄氏（千葉県袖ヶ浦市立根形小学校教頭）の指導、調べ学習Q&Aを通して、国語力を高め、メディア活用能力を育成する指導に役立てられるようにした。

制作にあたり開発プログラム推進委員会は、一般論ではなく個別の実践の中から問題点を掴み、どう支援するのかを明確にするために、発表を中間と最終の2回に分けた。中間発表は8月に参加者合同で、最終発表は11月から1月にかけて各校別に行い、それぞれ取り組みの経過を点検し再構築を試みている。教材では、それぞれのグループの中間と最終の発表を紹介し、どのように課題を深めたのかを比較できるようにした。

指導をお願いした鴛田先生には、中間発表は別府大学のメディア教育・研究センターで、また最終発表はビデオ映像をもとに指導内容を検討して頂いた。

調べ学習は、①課題を設定する ②見通しを立てる ③資料・情報を集める ④資料・情報を記録し、整理する ⑤資料・情報をまとめ、発表するの5つの段階を踏む。この教材では、①②を、小学校と中学校の実践経過で説明し、③④⑤については、中間と最終の発表の経過の中で適宜扱っている。

実践事例との関連で提起された内容については、今後、教育現場と連携して、児童生徒の能力に応じた支援の開発を行う。

実践を通して明らかにした主な支援内容

- ◇発達段階に応じた支援。
- ◇大テーマから中・小への絞り込み⇒焦点化への指導。
- ◇子どもとの対話・個性化の教育。
- ◇課題を解決するための方法の見通しを立てる支援。
- ◇研究計画書作成の援助。
- ◇情報の信頼性を確認する支援。
- ◇資料を読むだけの発表を変える教師の役割。
- ◇中間発表を内容と方法を検討する場として位置づける指導のあり方。
- ◇児童生徒の気づきを把握し支援する。
- ◇子ども自身の生きかたに関わることばを生み出す指導の視点。
- ◇見ている人に、「より分かりやすく、見やすく」を考える導き方。
- ◇調べたこと、自分たちの考えを区別した表現へ。
- ◇参考、引用など、著作権についての指導のあり方。
- ◇フィールドワーク支援の方法。

- ◇メディア、情報機器活用の環境整備。
- ◇伝える対象、場を意識し、効果的なまとめ、発表を考える力の育成。
- ◇自分のことばで伝える表現力の育成。

etc.

深め 発見する喜び DVD 教材内容（2時間）

指導：鴫田道雄

<input type="checkbox"/> 調べ学習の進め方	課題を設定する	学習の見通しを立てる
<input type="checkbox"/> 明星小学校Aグループ	中間・最終発表	中間発表「海底はどうして山になるのか」、最終発表「地殻変動」
<input type="checkbox"/> 大分豊府中学校	中間・最終発表	「大分の食べ物」
<input type="checkbox"/> 杵築 北部中学校	中間・最終発表	「北中ヒストリー」
<input type="checkbox"/> 明星小学校Bグループ	中間・最終発表	中間発表「夏の星座について」、最終発表「デネブ&アンタレス」
<input type="checkbox"/> 明星小学校Cグループ	中間・最終発表	中間発表「惑星」、最終発表「火星」

調べ学習 Q&A

①国語力の向上とメディア活用能力育成の課題	開発プログラム推進委員会 石井保廣 後藤弘子
②子どもへの支援のあり方	得松昭行
③調べ学習は個人かグループか	鴫田道雄
④調べ学習はどこまで深めればいいのか	鴫田道雄
⑤学校図書館司書の役割	鴫田道雄
⑥情報メディアの活用を支える環境づくり	鴫田道雄

教員の指導力向上への新たな挑戦

別府大学長 西村 明